

「中小企業経営者等デジタル人材育成促進事業」企画提案募集に係る質問及び回答

	質問	回答
1	ワークショップの会場は主要駅の近くですが、セミナーの会場は「主要駅の近く」といった指定がないのは何故でしょうか。	セミナーは経営者が集まる会議等の会場に講師を派遣することを想定しているため、派遣先の施設を基本としています。
2	ワークショップの参加者へアンケートを行い、検証・分析を行うとともに、ワークショップ後にもアンケートを行うとありますが、事業前と後にアンケートを行うという認識で良いでしょうか。	ワークショップ参加者への事前アンケートを実施する意図ではありません。 ワークショップを前期と後期に分けた場合、前期のアンケートを後期に活かすことができるため、参加者へのアンケートを行うよう記載しています。 ワークショップ後のアンケートは、次年度以降の事業実施に活かすことを想定して記載しています。
3	「事業の実施にあたって、県が別に実施するデジタル人材育成の支援事業と連携すること」とありますが、具体的には何を想定していますか。	当課では、他にも階層別研修やアドバイザー派遣等のデジタル人材育成支援事業を行っています。委託業者が異なる場合があります。そのような場合は、双方の事業効果を高めるため、事業周知等で連携していただきたいと考えています。
4	支払額の確定方法に証拠書類を整理するとありますが、収支だけでなく日報等も提出しなければならないでしょうか。	本事業は国の交付金を受けている事業であるため、会計検査に対応できる程度の証拠書類を整理する必要があります。 企業によって提出できる書類とそうでない書類があると思いますので、可能であれば日報等も提出していただきたいです。
5	一般管理費10%を経費に計上することは認められますか。	認められます。
6	ワークショップの実施規模の「10回開催」との記載について、同一内容の講座を複数回実施するということでしょうか。もしくは内容の異なる講座を10回実施するということでしょうか。	同一内容か異なる内容かの指示は行っていません。 集客や事業効果等を考慮して、ご提案いただければと思います。
7	セミナーの実施規模の「30回以上」との記載について、同一内容の講座を複数の事業所（提供先）で実施した場合、各実施分は回数の算定対象として適切でしょうか。	適切です。
8	セミナーの実施規模の「30回以上」との記載について、同一の事業所（提供先）に対し内容の異なる講座を複数回実施した場合、それぞれ回数の算定対象として適切でしょうか。	適切です。
9	セミナーの実施規模の「合計500人以上」との記載について、延べ人数（参加回数の累計）での算定として差し支えないでしょうか。	差し支えありません。
10	セミナーの今年度開催分について、現時点までの実績と計画について、提供先、テーマ、講義時間、参加人数をご教示ください。	県としては、過去の実績に囚われず、新たな視点を踏まえた幅広い企画提案を募りたいと考えているため、現時点での公表は差し控えさせていただきます。
11	過年度に研修を提供した事業者および参加者に対し、継続してR8年度にも異なる内容の研修を実施することは、研修回数および参加者数の算定対象として適切でしょうか。	適切です。